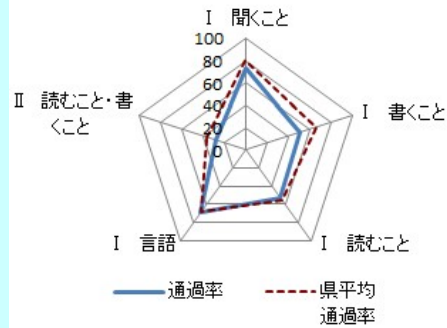


「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校58.3%, 県63.7%)

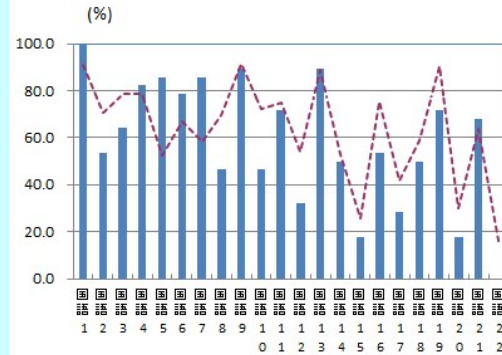
領域別平均通過率

領域別平均通過率(国語)



設問ごとの平均通過率

設問ごとの平均通過率(国語)



本年度の結果について

○今年度の調査から明らかになった課題
 タイプⅠでは、「中心となる語や文の把握 (17.9%)」「目的に応じた記述 (28.6%)」「主語・述語の関係 (32.1%)」、タイプⅡでは、「情報の取出し・情報を関連付けた記述(17.9%)」「情報の取り出し・理由や事例を挙げた記述 (0%)」など、読むこと・書くことの通過率が低い。資料から必要な情報を取り出し、複数の資料を関連付けて読み取ることに課題があることが明らかになった。

重点課題

- ・主語・述語の関係をとらえることができていない。
- ・中心となる語や文に着目して読み取ることができていない。
- ・情報を取り出して、記述することができていない。

標準学力調査に向けた重点取組

- ・学校生活の中で、主語を用いて話すように指導する。日記指導・作文指導の中で、主語・述語が対応する文を書くことができるように指導する。低学年からの継続的な指導を行う。
- ・家庭学習等で、新聞記事を要約して感想を書いたり、記者が伝えたかったことをキーワードで抜き出したりする活動を取り入れる。
- ・観察記録、見学新聞等を書く活動で、題や小見出しの付け方の指導を重点的に行う。
- ・条件（キーワード、行数等）をつけて、日々の授業の振り返りを書かせる。
- ・目的を示す、型を提示するなど、条件を付けて書く活動を設定する。

取組計画表

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
校内研修等(職員)	・全職員で問題を解き、通過率の低かった問題の誤答分析を行う。	・改善計画を使い、2学期から全職員で取り組む内容を共有する。	のびのびタイム・・・ワーク「読む力」、プリント(「主語・述語」「慣用句」「ローマ字」「漢字)」など 日記指導・作文指導					・標準学力検査の結果分析を行う	
児童への取組									